

新たなる創造への挑戦 ヤマハ発動機の軌跡

設立以来、常に前向きなチャレンジ・スピリッツを発揮し、
新しい価値の創造に取り組み、次代を切り開いてきたヤマハ発動機。
モノ創りで輝き、世界に存在感を示す“感動創造企業”は、
これからも新たな未来を描き続けます。

1955

1960

1965

1970

1975

1980



1955年
モーターサイクル1号機「YA1」を生産開始



1960年
船外機の第1号機「P-7」を発売



1960年
初のFRP製ボート「CAT-21」を発表



1967年
「TOYOTA 2000GT」を生産開始



1973年
ポータブル発電機の第1号機「ET1250」を発売



1974年
FRPプールの製造・販売を開始



1976年
産業用ロボットの第1号機「アーク溶接ロボット」を発売



1976年
マリンディーゼルの第1号機
「MD35」を発売



1977年
ソフトバイク
「パスソル」を発売



1985 1990 1995 2000 2005 2011

売上高
1兆2,762億円

1978年
除雪機の第1号機「YT665」を発売

1979年
All Terrain Vehicle (ATV) の第1号車
「YT125」をアメリカで発売

1986年
初のパーソナルウォータークラフト
「MJ-500T」を発売

1987年
産業用無人ヘリコプターの第1号機
「R-50」を限定発売

1993年
電動ハイブリッド自転車
「PAS」を地域限定で
発売

1995年
車イス電動化ユニット「JW-1」を発売

2002年
スノーモビル初の4ストロークスポーツモデル
「RX-1」を発売

2002年
エレクトリックコミューター
「Passol」を地域限定で
発売

2007年
世界最大の最高
出力350馬力の
「F350」を発表